三井住友信託銀行
SUMITOMO MITSUI TRUST BANK

Daily Report（号外）

～日銀金融政策決定会合について～

決定事項

日銀は3月18～19日に開いた金融政策決定会合で、マイナス金利政策の解除を含む政策修正を決定しました。

2007年以来17年振りの利上げとなり、約8年に亘るマイナス金利政策が終了しました。

2024年の春闘において、大幅な賃上げが見込める状況になったことから、マイナス金利政策やイールドカーブ・コントロール政策（以下、YCC政策）を含む、異次元緩和の修正に踏み切ったものです。

声明文では、「最近のデータやヒアリング情報から、賃金と物価の好循環の強まりが確認されてきており、先行き、『展望レポート』の見通し期間終盤にかけて、2%の『物価安定の目標』が持続的・安定的に実現していくことが見通せる状況に至ったと判断。」と評価しました。加えて、「引き続き『物価安定の目標』のもとで、その持続的・安定的な実現という観点から、短期金利の操作を主たる政策手段として、経済・物価・金融情勢に応じて適切に金融政策を運営する。」とし、①現時点の経済・物価見通しを前提とすれば、当面、緩和的な金融環境が継続すると考えている、②長期国債の買入れについては、これまでと概ね同程度の金額で長期国債の買い入れを継続する、など2006年の利上げ時と類似する文言が用いられました。

＜政策修正の具体的な内容＞

政策メニュー	政策修正後の内容
マイナス金利政策	**解除**。無担保コールレート（オーバーナイト物）を0～0.1%程度で推移するよう促す。 当座預金残高の3層構造は1層構造に変更の上、超過準備には0.1%の付利*を行う。 *翌営業日（3/21）から適用
YCC政策	**撤廃**。但し、不連続な金利上昇を回避するため、長期金利が急激に上昇する場合には、毎月の買入れ予定額にかかわらず、機動的に、買入額の増額や指値オペ、共通担保資金供給オペなどを実施する。
QE（量的緩和）	不連続な金利上昇を回避するため、**「現状程度の長期国債買入れを継続」**する方針を表明。
オーバーシュート型コミットメント	**「マネタリーベース拡大方針」を撤廃**する。 （『その要件を充足したものと判断』）
ETF（上場投資信託）・REIT購入	**新規の買入れを終了**する
CP等及び社債等の購入	買入れ額を**段階的に減額**し、**1年後を目途に買入れを終了**する。

運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。
また、シミュレーション等（前提は資料参照）については結果を確約するものではございません。

決定事項

なお、長期国債の買入れについては、従来同様、ある程度の幅をもって予定額を示すこととし、次の通り、1回当たりオファー金額のレンジを変更(レンジ上限を下方修正)しました。

残存年限	変更前のオファー金額	変更後のオファー金額	直近のオファー金額
1年以下	1,500億円	1,500億円	1,500億円
1-3年	3,000～6,500億円	3,000～4,500億円	3,750億円
3-5年	3,500～7,500億円	3,500～5,000億円	4,250億円
5-10年	4,000～9,000億円	4,000～5,500億円	4.750億円
10-25年	1,000～5,000億円	1,000～2,000億円	1,500億円
25年超	500～3,500億円	500～1,000億円	750億円

変更後のオファー金額レンジは、各年限における直近の買入額が中央値となるよう設定されています。月間のオファー回数については変更ありません。

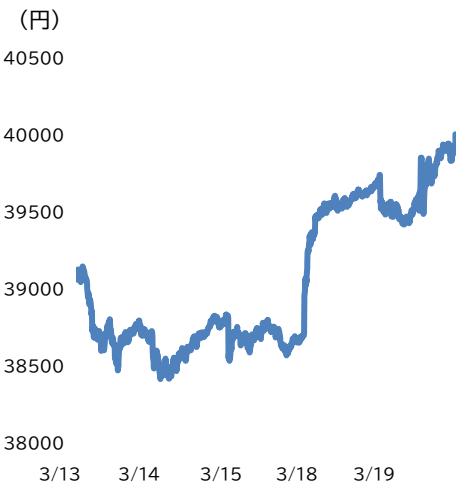
市場反応(速報)

3/19の東京株式市場では、前場は日経平均株価が前日に1,000円超上昇した反動で売りが優勢となり、前営業日比144円15銭安の3万9,596円29銭と小幅に反落しましたが、日銀によるマイナス金利解除等の金融政策の変更が伝えられると、事前報道からも織込みが進んでいたことから大きな混乱は生じず、低金利環境の継続期待や円安などを材料に輸出関連株や不動産株などの買いが優勢となり、前営業日比263円16銭高(+0.66%)の4万3円60銭で取引を終えました。

債券市場では、日銀がマイナス金利政策の解除などを発表したものの、国債買入れについては従来と同程度の金額を購入する方針を示したことで需給の緩みへの警戒感が後退し、緩和的な金融環境が当面続くという見方が広がったことから長期金利は低下し、前日比0.03%低い0.736%程度で推移しています。

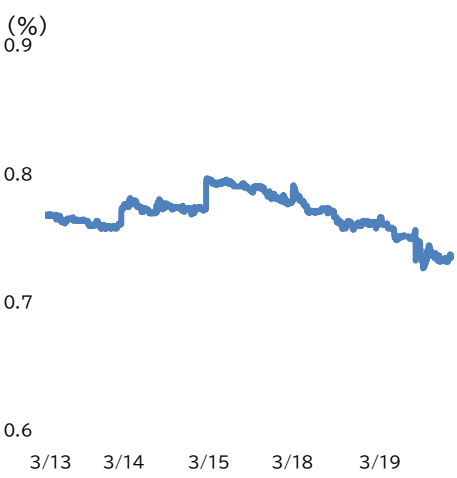
為替は、こうした金利動向に合わせる形で円安が進み、米ドル円相場は1ドル150.37円程度で推移しています(債券・為替は3/19 16:00時点)。

日経平均株価の推移



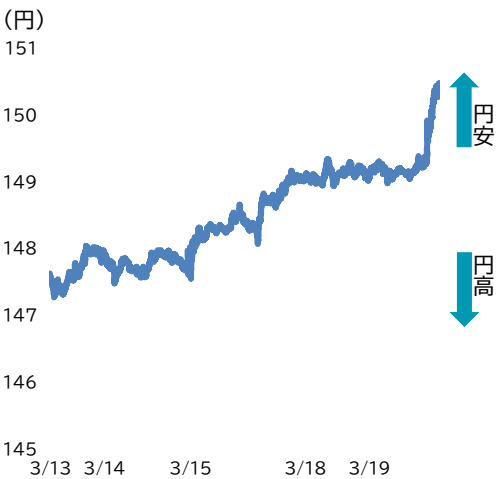
期間:2024/3/13～2024/3/19、出所:Bloomberg

新発10年物国債利回りの推移



期間:2024/3/13 9:00～2024/3/19 16:00、出所:Bloomberg

米ドル/円の推移



期間:2024/3/13 9:00～2024/3/19 16:00、出所:Bloomberg

運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。
また、シミュレーション等(前提は資料参照)については結果を確約するものではございません。